

ちぐさ



CHIGUSA

戸板女子短期大学同窓会千草会

Vol.63

CHIGUSA

Vol.
63

ちぐさ

戸板女子短期大学同窓会千草会

目次

表紙絵 日本刺繡「花車」
表紙 (2) 校訓 知好楽

- 2 ご挨拶 一年を振り返って
- 3 戸板関子先生の教えを紐解く
- 4 イヴ・サンローランと知好楽
- 6 AIの進化とマルコの時代
- 7 私と戸板女子短期大学

人物紹介

- 8 繋がれた縁～戸板との出会い～
被服科44回 兵庫 麻子
- 9 海外に出てみて
食物栄養科9回 松山 美樹

広がる輪

- 10 お便りコーナー
- 12 支部紹介
- 13 交流会報告
福島県支部再開へ
戸板八王子会
- 14 戸板栄養士会だより

かんたんレシピ

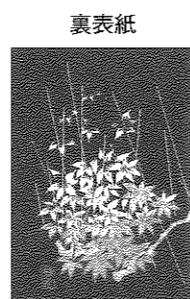
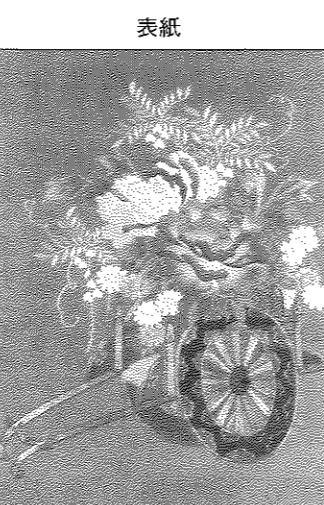
- 15 ひとり分の楽々ごはん
食物栄養科5回 井上 慶子

学園だより

- 16 新たな出会いの場一図書館一
被服科44回 小坂 陽子
- 17 インターンシップ
- 18 TOITA Fes 2018・奨学生
- 20 お知らせコーナー

会務報告

- 21 行事報告・会計報告
- 24 永眠者
表紙 (3) 入試・広報部からのお知らせ



花車

表紙絵は吉祥模様のなかでも代表的な「花車」が日本刺繡で描かれています。描かれた花にはそれぞれに意味があり、牡丹は花の大輪や豪華さから「百花の王」と言われ富貴さを、菊は格調高く高貴であり、また薬用に用いられたことから延命長寿を、藤はたくさんの房をつけることから子孫繁栄を表します。

裏表紙絵は日本人に最も愛される「紅葉」です。流水と合わせると「龍田川文」となり、秋を彩る模様です。作者は日本刺繡作家として、また本校の講師としてもご活躍していました宮崎静花様（通子・被服科15回）です。作品はどれも繊細で色彩豊かで見る人を引きつけます。

校訓

知 好 楽

子曰く

之を知る者は
之を好む者に如かず
之を好む者は
之を楽しむ者に如かず

論語（雍也第六）

校訓 知 好 楽

ものごとはすべて対象を「知る」ことから始まる。「知ることによって「好き」になれる。対象を知って好きになり、はじめて人は「楽しみ」ながらその本質をつかむことができる。

『戸板学園百周年記念誌』より



千草会会長
小林 操子

「一年振り返つて」

千草会会員の皆様には、お変わりなく健やかにお過ごしのことと申しあげます。平素は、同窓会千草会のためにご支援・ご協力を賜りまして御礼申しあげます。平成三十年を振り返りますと、西日本豪雨災害をはじめ大阪府北部や北海道胆振地方の大きな地震、夏には記録的な猛暑が続くなど、多くの自然災害にみまわれた年となりました。日本のみならず、世界各地でも火山の噴火や水害、地震など次々と大きな災害が起こりました。また、内戦や難民の移動など政情不安のニュースが続き、心が重い年となりました。災害のニュースなどを聞く度に、同窓生の皆様には平穏な日常を過ごされていらっしゃるかと案じております。

千草会の三十年度は、総会のような大きな行事もなく、例年の行事予定を一つ一つ進めていくこと

でした。しかし、僅かの改革もありました。六月に行われた幹事会（年一回）では、閉会後に懇親の場を初めて設けました。梅雨時でのこともあり、参加者は多くはありませんでしたが、幹事の皆様とのお話し合いができましたことは、大切な時間となりました。

秋の学園祭は、今年からTOITA Fes 2018と名称が変わりました。内容も只楽しむだけでなく、産学連携の発表の場が設けられておりました。選抜で勝ち残った学生たちが、戸板ホールの大きな舞台上で堂々と研究成果を発表している姿みて、教育現場の変化を感じました。参加団体も例年に比べて数段に多く、学生たちの積極的な姿勢にもまた驚きました。千草会からは、八年振りに支援金の復活を行いました。戸板ホールでのランウェイ周辺装備、カフェテリアでの簡易ステー

トでした。しかし、僅かの改革もありました。六月に行われた幹事会（年一回）では、閉会後に懇親の場を初めて設けました。梅雨時でのこともあり、参加者は多くはありませんでしたが、幹事の皆様とのお話し合いができましたことは、大切な時間となりました。

秋の学園祭は、今年からTOITA Fes 2018と名称が変わりました。内容も只楽しむだけでなく、産学連携の発表の場が設けられておりました。選抜で勝ち残った学生たちが、戸板ホールの大きな舞台上で堂々と研究成果を発表している姿みて、教育現場の変化を感じました。参加団体も例年に比べて数段に多く、学生たちの積極的な姿勢にもまた驚きました。千草会からは、八年振りに支援金の復活を行いました。戸板ホールでのランウェイ周辺装備、カフェテリアでの簡易ステー

トでした。しかし、僅かの改革もありました。六月に行われた幹事会（年一回）では、閉会後に懇親の場を初めて設けました。梅雨時でのこともあり、参加者は多くはありませんでしたが、幹事の皆様とのお話し合いができましたことは、大切な時間となりました。

秋の学園祭は、今年からTOITA Fes 2018と名称が変わりました。内容も只楽しむだけでなく、産学連携の発表の場が設けられておりました。選抜で勝ち残った学生たちが、戸板ホールの大きな舞台上で堂々と研究成果を発表している姿みて、教育現場の変化を感じました。参加団体も例年に比べて数段に多く、学生たちの積極的な姿勢にもまた驚きました。千草会からは、八年振りに支援金の復活を行いました。戸板ホールでのランウェイ周辺装備、カフェテリアでの簡易ステー

トでした。しかし、僅かの改革もありました。六月に行われた幹事会（年一回）では、閉会後に懇親の場を初めて設けました。梅雨時でのこともあり、参加者は多くはありませんでしたが、幹事の皆様とのお話し合いができましたことは、大切な時間となりました。

秋の学園祭は、今年からTOITA Fes 2018と名称が変わりました。内容も只楽しむだけでなく、産学連携の発表の場が設けられておりました。選抜で勝ち残った学生たちが、戸板ホールの大きな舞台上で堂々と研究成果を発表している姿みて、教育現場の変化を感じました。参加団体も例年に比べて数段に多く、学生たちの積極的な姿勢にもまた驚きました。千草会からは、八年振りに支援金の復活を行いました。戸板ホールでのランウェイ周辺装備、カフェテリアでの簡易ステー



学長
小林 千春

戸板関子先生の教えを紐解く

千草会の皆様には、平素より本学の発展のためにご協力、ご支援を賜り厚く御礼申しあげます。創立一一七年を迎える本年、おかげさまで、短期大学の多くが学生募集に苦慮している中、本学は安定して定員を確保できているという状況が続いております。これもひとえに教職員一丸となつての努力の賜物と感謝しております。単にそれの入試において、選抜機能も働くようになつてしまひました。本学に適した学生を受け入れ、しっかりととした教育を施し、社会に送り出すことによつて、本学の取り組みが世の中で評価され、大學としてのブランドがしっかりと根付く、この循環を続けることが大切だと思つております。冒頭にも申しましたが、四年制大学と専門学校の狭間で、さらに専門職大学も設置されようとしている中、短期大学を取り

巻く状況は依然として厳しいものがあります。しかしながら、オーブンキャンパスに来校する高校生と話すと、四年間何となく過ごすよりも二年間しつかり学んで社会にて働きたいと、希望する多くの生徒がいるのも現実です。東京だけではなく全国的にも短期大学の数は減少の傾向にあります、一七年の歴史と伝統を持つ本学は、こういった希望を抱く学生のため、関子先生が築いた由緒あるこの芝の地に存在し続ける使命があります。

さて、第六十二号で、創立一五年を記念して、現代版建学の精神とも言うべき Toita's 7 Promises を策定した件に触れましたが、今回は、最初に掲げた Curiosity について触れたいと思います。

戸板関子先生は、校訓として「知好樂」を選ばれました。Curiosity はこの校訓である「知好樂」からキーワードです。昨年、ノーベル生理学・医学賞を受賞された本庶佑教授は、研究の原動力は「何かを知りたい」という好奇心（Curiosity）である」とおっしゃいました。本学の学生たちと接しておられますと、確かに一度何かに興味を持つと、見違えるように積極的な姿勢で学ぶようになります。現在、双方型授業、アクティブラーニングを授業にとりいれることができますと、確かに一度何かに興味を持つと、見違えるように積極的な姿勢で学ぶようになります。

ル生体・医学賞を受賞された本庶佑教授は、研究の原動力は「何かを知りたい」という好奇心（Curiosity）である」とおっしゃいました。本学の学生たちと接しておられますと、確かに一度何かに興味を持つと、見違えるように積極的な姿勢で学ぶようになります。現在、双方型授業、アクティブラーニングを授業にとりいれることができますと、確かに一度何かに興味を持つと、見違えるように積極的な姿勢で学ぶようになります。

今年で平成の世に別れを告げ、新しい時代が始まります。美智子皇后は、昨年八十四歳のお誕生日会見の際に、退位を前に「余生は本を思いつき読みたい」とおつしやつていらっしゃいました。「本は根っこになり、時には私に翼をくれた」とも語つていらしたそうですね。本学の学生達にとって、二年後の人生を振り返り、戸板女子短期大学で学んだ二年間が根となり、人生を生き抜くための翼になつてくれたらと切に願つています。

同窓生の皆様、どうぞ今後とも母校に、そして後輩たちに、温かご支援を賜りたく宜しくお願ひ申しあげます。

きます。全国に住む同窓生との直接的な繋がりを、とても大切なものと考えておりますので、支部の発展は同窓会にとって重要な課題の一つと考えております。日々、支部の運営を円滑に進めてくださっている役員の方々のご努力とご尽力に、深く感謝する次第です。

会報誌『ちぐさ』は年に一回の発行です。学校の現状や千草会の運営と卒業生の活躍などを知ることができます。会員同士を繋ぐ大切なものとなつております。幅広い卒業生に興味を持つて、手に取つていただける充実した内容を目指しておりますが、原稿を依頼できる方々を探すことには苦慮しているのが現実です。皆様からのご協力やご意見などを、是非お聞かせいただけますようお願いいたします。

よいよ、五月には平成から新しい元号となります。元号が変わったからと言つて、何かが大きく変わることはありませんが、それでも新しい時代に夢と希望を持ちたいと思つております。千草会も、よりいつそう発展できますよう、努力を重ねていきたいと存じます。

これからも同窓会千草会へのご指導、ご鞭撻を宜しくお願ひいたします。また、皆様の未来がいつまでもより良くありますことを願っております。(被服科十八回)

イヴ・サンローランと知好楽

服飾藝術科教授 朝月真次郎

卷之三

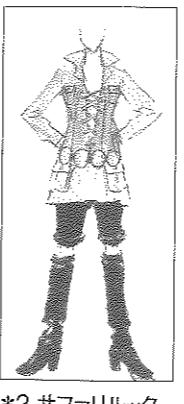
私は四年制大学終了後、アパレルメーカー、株式会社JUNに入社いたしました。当時創業者の佐々木忠さんがヨーロピアンブームを巻き起こしていいる真つただ中でございました。忠さんはなんと言つてもイヴ・サンローランがお気に入り、イヴをお手本にしていたところがありました。私はその頃四年制卒でしたので、入社後営業を担当しておりました。イヴの偉大さは身に染みております。イヴがお作りになつたパリ左岸のリヴゴーシュ店を記念してオーデトワレを発売したことが、私にとつて衝撃的なブルーという色と香りを脳裏に焼き付けたほどでした。当時、ブルー、赤、グリーンという組み合わせのスカーフがJUNより発売され、これはまさにサンローランカラーのスカーフではないかなと、サンローランをまだ買うことができない私にとってサンローランの発想の源となっていました。

M G H 代表 プロデューサー 植様からこのお話をいただいたとき、すぐ
に承諾いたしました。植様がピエール・ベルジエ様とパリでお会いにな
りながらこの作品のご許可をいただ
いたこと、イヴのミュージカルが世
界で初めて上演されること、走馬灯
のように蘇つてまいります。その衣
装を担当させていただけることの喜
びは生涯の中でも最高で最後の仕事

私は戸板女子短期大学、服飾芸術科において授業を進めるにあたり学生の皆様に、コスチュームのことだけではなく、「衣食住遊休知美景」のグローバルビジョンを幅広く能動的に考えるようなど教えております。イヴ・ピエールはファッショニスト、食インテリア、リゾートなど、世界中のすべてを具現化した最初のパートナーでもあつたのですね。プレタポルテを始めたのも彼であり、まさにイヴ・サンローランは「衣食住遊休知美景」のグローバルビジョンの先駆けだったのではないでしようか。

私のキャリアは営業から始まり、マーチャンダイザーとなつた後、デザイナーとなり、LUNA MATTION ブランドを立ち上げました。LUNA MATTION のファッショングマドンナさんはじめ各芸能文化芸術多方面からも賛同をいただき、それが縁で舞台の世界に入つてまいりました。栗山民也さん演出・大地真央さん主演『クレオパトラ』で舞台衣装を手掛け、これがLUNA MATTION (JUN) 時代の最後の作品となつたのです。独立直後東宝帝劇『エリザベート』

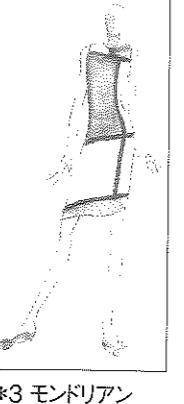
私がイヴ・サンローランのデザインで魅力を感じる一つにロシアコレクションがございます。イヴはロシア、パレエリユスにも関わりが深く、ロシアの雰囲気を生かしたデザインを発表し、私はそれにとても惹かれました。その後、まさに世界で初めて、女性のキャリア服をタキシードスタイルで表現したスマーキング【上図参照】に心打たれます。オートクチュールメゾンであるイヴ・サンローランがジジ・ジャンメールのためにグランドキャバレーの衣装を手掛け、プレタポルテを世界で初めて立ち上げ、様々なビジネス力と発想力が当時としてはとても画期的であり、あらゆるグローバルな世界をファッショニの歴史に残したことが偉大なデザイナーでもあります。



*2 サファリルック



*1 スモーキング



*3 モンドリアン

【右図参照】、モンドリアン **【左図参考】**、などどのスタイルが出てまいりますが、一人が着用することではなく、同時に多数の役者さんが着てご覧いただきます。荻田先生の発想力の素晴らしさだと思います。多数が着るインパクト、それで荻田先生の素晴らしい世界観がサンローランで蘇ります。私であれば一つのデザインを一人の役者がお召しになる発想しか考えつきませんので、同じデザインのものが多数出てくるインパクトが強烈であり、迫力ある舞台になるのではないかと思ひます。

私はボリュームがあるデザインがとても好きではあります、今回イヴとピエール・ベルジエのリアリティのある衣装製作に力を入れました。イヴがご存命の頃は、メンズラインはイヴ・サンローランでは製作されていなかつたのですから、イヴ自身は他のブランドを多数私服としてお召しになつていたようですが、



フランス大使館に於いて
ミュージカル『イヴ・サンローラン』
制作発表にて



今回の舞台で東山義久さん、海宝直人さんがイヴを演じるダブルジャケットも少し私流アレンジをほどこしました。どの程度まで装飾的にしてよいかという判断は、荻田先生と相談して決めさせていただきました。以前より私がデザインを手掛けるものはアトリエ泣かせ（笑）。細部までお願いすることが多々ございました。今はちょうどスモーキングの衣装の素材について決めているところ。本来は上下同じ素材なのですが、上下の素材の厚み及びファブリックを変えた方がよいと思つてているのです。スマーキングパンツはベルボトムではなく、つかず離れずですが、下は若干太いです。イヴが女性のキャラクター進出のために初めてデザイン製作された女性の仕事着ですから、仕事



*4 ルウルウ
*1~4 朝月流デザイン画
デザイン画作成
服飾芸術科助教
丸山 奉平先生

がしやすいデザイン力が發揮され
それが今日に至つております。

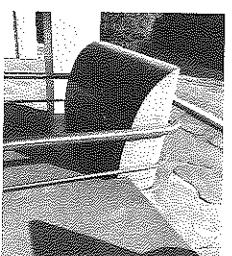
演劇界の中でも荻田浩一先生が一番ファッショントークを理解されてゐる演出家ではないかと思つております。衣装を作成する際、荻田先生とは阿吽の呼吸で進めていける。それはイヴとピエールに通じるところもあるかもしません。

ファッシュョン業界が舞台であること、ファッシュョンに興味がある方はとても考えさせられる作品であり、一般の方には馴染みが薄いかもしれません。が、荻田先生はいろいろとファッショング業界に通じる仕掛けを考えられているような気がします。

【右図参照】

例えばルウルウ【右図参照】というキャラクターやアンディ・ウォーホル、エルザ・スキヤパレリも登場するのです。この方々が登場することにより多方面のポピュラーな世界が広がります。荻田先生が考える仕掛けを衣装で視覚化することができれば嬉しいです。私は、荻田先生が作った世界を黒衣として支える役割がなければとても満足でございます。

ヒエール・ベルジエの庭作り



フランス大使館の芝生の中心は大きなスペースですがイヴ・サンローランとベルジェさんの気持ちを馳せ、素晴らしいお庭を眺めながら素敵なイスで学生と共に過ごしました。

より私のエンターテインメントゼミは、ライフスタイルゼミに模様替えされることになつております。「衣食住遊休知美景」は、私共ライフスタイル研究室の名称でもありましたミュージカル『サンローラン』の衣装デザイン、製作にベルジエさんより快く承諾いただけた気持ちを糧に新たな思いで学生と共にこれからも素晴らしいライフスタイルのお手本となる情報を共有し、学生の能動性を更に生かせる文化的な授業を作つていければと思つております。

パーティーを開催することもあり、芝生は面積も広大ですが真逆な考えを持つペルジエさんは、庭に対するデザイン理論を持ち合わせています。たと、MGH代表プロデューサー桜様よりお聞きいたしました。お会いした時も、庭は個人の領域であり、あくまでもプライベート重視な考えを強調なさつていらつしやつたそうです。いくつもの雰囲気を楽しむため、垣根や植込みで境を作りながら、それぞれのコーナー（ベンチコーナー、アームチェアーコーナー、鳥小屋コーナー）など変化を楽しむ作りのアイデアを出し合いながら楽

私がイヴ・サンローランのデザインで魅力を感じる一つにロシアコレクションがございます。イヴはロシア、バレエリュスにも関わりが深く、ロシアの雰囲気を生かしたデザインを発表し、私はそれにても惹かれました。その後、まさに世界で初めて、女性のキャリア服をタキシードスタイルで表現したスマーキング【上図参照】に心打たれます。オートクチュールメゾンであるイヴ・サンローランがジジ・ジャンメールのためにグランドキャバレーの衣装を手掛け、プレタポルテを世界で初めて立ち上げ、様々なビジネス力と発想力が当時としてはとても画期的であり、あらゆるグローバルな世界を偉大なデザイナーでもあります。

の衣装を小池修一郎先生より担当させていただき、演劇の流れに身を置いてまいりました。今回ミュージカル『イヴ・サンローラン』の衣装を手掛けたということで、ファッショント舞台が融合した新鮮さを感じております。荻田浩一先生が描くサンローランの生き様と共に鳴しながら手掛けられるのはとても光榮な気持ちでワクワクいたします。



国際コミュニケーション学科
准教授

別宮 玲

マルコの時代

IT企業に就職し、SEとして十二年活動していました。そして現在は本学国際コミュニケーション学科で情報教育に携わっています。戸板での勤務も十二年。前職とちょうど同じ年数になつていました。さて本稿では、このような立場から、昨今話題のAIとこれからの人材について、思うところを書いてみたいと思います。（執筆現在、二〇一八年十月です）。

昨年の四月一日に将棋の佐藤天彦名人がAIに敗北しました。AIとの対局後の名人戦七番勝負では羽生善治棋聖（当時）を相手に、佐藤名人が四勝二敗で勝利し、連覇を達成しており、強い名人がAIに負けてしまつたという事実が、よりこの出来事を際立たせています。この出来事は大きくニュースでも取り上げられ、AIが人間の仕事を無くしてしまうのではないか、といった議論が活発化するきっかけとなりました。

母を訪ねて三千里をご覧になつたことがありますか。イタリアはジエノバに暮らすマルコ少年が、遠く離れたアルゼンチンに出稼ぎに行つたお母さんに会うために一人旅をする物語です。実はこの物語、機械が発展し人々の生活を大きく変えた時代が舞台となつています。

マルコ少年はビン屋でビンを洗う仕事をしていましたが、ビン工場にビンを洗う機械が導入されることでマルコは（そしてビン屋の主人も）、仕事を失ってしまいます。この機械の発展によって仕事を失う物語の一方で、マルコの兄トニオは蒸気機関士を目指して鉄道学校に通つており、最終話では見事に機関士になり家族を支える存在となります。技術が発展する中、一方では職を失う者があり、一方では花形職業に就く者がいる……AIの発展に将来を危惧する現在

した。ところで皆さんはテレビアニメ『母を訪ねて三千里』をご覧になつたことがありますか。トニオは機関士としての技術を身につけることで、その時代を生き抜くことができました。

それではAIが発展する時代を生き抜く人材とは、どのような人材なのでしょうか。ここで注目すべき事柄に、二〇二〇年の小中学校におけるプログラミング教育必修化が挙げられます。文部科学省はプログラミング教育の狙いの一ととして「プログラムの動きやよさ、情報社会がコンピュータなどを情報技術によって支えられていくことなどに気付き、コンピュータなどを活用して身近な問題を解決したり、よりよい社会を築いたりしようとする態度を育むこと」を挙げています。誰もが全員AIを作れるようになろうと言つてゐるわけではありません。AIを知り、活用し、時代を生き抜くための力を身につけようという考え方です。事実、今後導入されるプログラミング教育ではJavaなどのプログラミング言語を学ぶわけではあります。

Scratchによるプログラミング教育は小中学校に先行して既に学研が行つているのですが、本学ゼミ生も教員補助として、これに参加しております。また明確な目的のもとプログラミングを学習できるよう、Pepperを導入した環境を構築する予定です。

AIやプログラミングは敵でも怖いものではなく、むしろ頼もしくて楽しい味方であると考えられる人材が、これから社会を生き抜く人材なのではないでしょうか。今後もそのような女性が本学から飛び立てるよう尽力いたしますので、これからも皆様のご支援のほど、よろしくお願ひ申し上げます。（※ビジュアルプログラミング…コンピュータへの命令をブロックで表し、これをパズルのように組み合わせるプログラミング。Scratchは代表的な教育向けビジュアルプログラミング環境）



服飾芸術科准教授
井上 近子

私と戸板女子短期大学

私は大学卒業と同時に、株式会社資生堂の関連会社である「株式会社ザ・ギンザ」へ入社いたしました。主に衣料品、服飾雑貨などの部門で販売スタッフとして勤務し、そして売場責任者としての経験を積み、その後、マーケティング開発部で販売計画や仕入計画の立案に携わってまいりました。

二〇〇七年四月からは、会社の了解を得て、週一日、日白大学短期大学部の非常勤講師として勤務していました。この間に授業に役立てるために独学で学修し「販売士検定一級」「カラーコードイング」「ターチ検定一級」の資格を取得いたしました。

二〇一二年三月に「株式会社ザ・ギンザ」を円満退社し、同年四月からは、日白大学短期大学部生活科学科の専任講師として勤務いたしました。これをきっかけに

学問の領域を広げるため、二〇一二年四月から明治大学大学院政治経済学研究科経済学専攻博士前期課程に入学し、教員と大学院生の二足のわらじを履いて、勉学に励みました。二〇一四年三月には修士（経済学）の学位を取得いたしました。

二〇一三年四月から二〇一七年三月までは、拓殖大学商学部の非常勤講師として「販売実務論」「マーケティング」「二年生ゼミナール」などの科目を担当しました。四年間で「販売士検定一級」合格者一名、「販売士検定二級」合格者六十名以上を輩出することができました。

二〇一六年四月からは、ご縁があつて本学服飾芸術科准教授として奉職しております。本学は一九〇二年に戸板関子先生により、戸板裁縫学校として設立し、一一七年を迎える全国に知れ渡った由緒ある伝統校であります。

本学の建学の精神である「時代

に適応する実学の教授研究により、職業に必要な能力を育成するとともに、知性と品性を涵養し、女性の人格形成と自立を目指すことがある」との言葉は、社会において実務経験がある私にとって印象づけられました。校訓である「知・好・樂」は「何事においても、知つて、好きになつて、そこで人生において心に残る一時である大学生活をより充実したとして楽しんで実行しよう」の意味があります。学生には、大学で学ぶことで知識を広め、学問を好きになり、さらに深掘りしていくことになります。人生において心に残るものにしてほしいと願っています。さて、私の本学における抱負ですが、講義内容が学生を含む社会ニーズに応えるものでなければなりません。こうした業界や企業に就職を

しました。

二〇一二年三月に「株式会社ザ・ギンザ」を円満退社し、同年四月からは、日白大学短期大学部生活科学科の専任講師として勤務いたしました。これをきっかけに

最後になりましたが、本学が来に向かつて発展するためには、実社会の要請に応える変革を成し遂げながら、社会的に評価を得ることで、やる気のある質の良い学生を集め、国際的にも通用するレベルの教育を行うことができる教育機関に脱皮することだと信じております。そのためには、同窓会の皆様のご協力とご支援が必要不可欠であり、今後ともどうぞよろしくお願い申しあげます。

海外に出てみて

食物栄養科9回
松山 美樹



はじめに、このような機会をいただき感謝申し上げます。また、在学中お世話になりました諸先生方に、この場を借りて御礼を申し上げます。

私は卒業後、千葉県にある保育園に就職しました。園児数一五〇名、職員四十名程の園で毎日約二〇〇名分の給食とおやつを作っていました。子どもたちは可愛くていらっしゃるが、働いて毎日癒されていましたが、働いている中で気になつたのが、年々アレルギー児が増えしていくことでし。多いときは、園児の十五%位に何かしらの食物アレルギーがありました。「どうしてアレルギーの子が増えているのだろう」と疑問に思い自分なりに勉強をしました。仕事の後に勉強会へ足を運んだ。

私は卒業後、千葉県にある保育園に就職しました。園児数一五〇名、職員四十名程の園で毎日約二〇〇名分の給食とおやつを作っていました。子どもたちは可愛くていらっしゃるが、働いて毎日癒されていましたが、働いている中で気になつたのが、年々アレルギー児が増えていくことでし。多いときは、園児の十五%位に何かしらの食物アレルギーがありました。「どうしてアレルギーの子が増えているのだろう」と疑問に思い自分なりに勉強をしました。仕事の後に勉強会へ足を運んだ。

私はイタリアの方と住みはじめました。彼らはお腹が空いたら自分でご飯を作ります。昼間通つていた語学学校では、ヨーロッパの人が多いのですが、大部分の生徒が飲んでいます。日本では炭酸飲料など水でした。日本では炭酸飲料などを飲んでいる若者が多いと感じるので、ここでは若者が水を選びます。日本程多くありません。お店も夕方になれば閉まります。二十四時間手軽に安く食べ物は手に入ります。せん。

私が働いたレストランでは、毎朝採れたての野菜、近くで獲れた魚が届きます。野菜は無農薬なので、一つひとつ形や大きさはバラ

バラ、根菜類には泥が入り込んでいます。葉物には虫がついています。それを一つひとつ洗つていくので、下処理に何時間もかかりました。山へ狩りに行き、捕つてきたイノシシを捌いていただいたりもしました。日本で生活していたときは感じるこの少なかつた、命を感じます。日本では自然のものは、調理するのも手間も時間もかかりますが、なにより体が喜ぶということを実感しました。また外国に出たことで、日本食の繊細さ、日本の食の素晴らしさ、マナー、御作法にも気づくことができました。日本人であり、子どもに食育をする立場なのに、日本について知らないことが多く恥ずかしく思いました。

帰国後、日本のマナーや御作法を勉強したくて、赤坂の料亭で三年間働きました。イタリアにはなかつた日本のきめ細やかさや、昔から大切にされてきたことをたくさん学びました。生きることは生きること

繋がれた縁～戸板との出会い～

被服科44回
兵庫 麻子



私は戸板女子短期大学との出会いは本当に偶然でした。高校生の時、進学する目的は、もの作りをしたいという思いと一人暮らしでした。そのため地元の京都以外で被服科を探していた最中、家庭科の授業中に私の背後から「和裁もいいわよ」の一言が聞こえました。裁が幅広く学べる短大として唯一の戸板短大を見つけることができました。しかも、念願の一人暮らしもできる東京！そんな理由で受験を決めたのです。当時はまだ古い校舎の雰囲気も気に入りました。この「和裁もいいわよ」は、私の忘れられない一言です。何気ない一言から、現在も和服に関わる仕事をしていることを考へると、目に見えない大きな流れに乗つて、縁というものが繋がってきたのだと思います。その言葉を聞き逃してたら、全く違った人生だったことは間違ひありません。もちろん、現在の大好きな人達との繋がりもなかつたことでしょう。

戸板時代、様々な実技の授業は、手を動かすのが好きな私にはとても楽しめました。反対に講義科目は居眠りせず、もつと真剣に聞くべきだったと今も後悔しています。よく運針をサボつていた私を、担任の小林操子先生は厳しくも温かく見守つてくださいました。



一番の記憶は、卒業制作で糸を染め着尺（大人の長着が一枚作れる幅と長さの反物）を織つたことです。色ムラができたり、千本以上もの糸を綜続（そうこう）に通す大変さ、永遠に感じた織る作業は、苦労した記憶にもかかわらず、譲り受けた織機を今でも大切にしています。週末になると特急に飛び乗り、今は亡き父が経営していた蓼科のペンションでの手伝いや飲食店でのアルバイトなど、念願の一人暮らしは本当に充実していました。卒業後はそのまま東京で十年間を過ごし、叔父の経営する免税店での勤務や着物メーカーの営業などを経験し結婚。現在は京都で、日本で唯一のハカマ専門店「和次元滴や」を主人と経営しています。二〇〇五年に創業し、京都御所と

高校生を筆頭に四人の子育てで悩まされながらの家事に加え、自営の店では販売はもちろん、商品管理、季節ごとのコレクションの準備、催事の出張、経理、手が足りない時には商品制作など、毎日が目まぐるしく、現在でも徹夜で仕事をする日があるくらいです。戸板時代の和裁の知識が役に立ちます。貴重な二年間は私の大切な思い出です。まだ先の見えない日々がどうなつていくのか見当もつきませんが、今後も流れに抗わず、全ての縁を大切に過ごしていきたいと思います。

鴨川のそばにある築一〇〇年を超える数寄屋造りの店舗で『次世代のサムライスタイル』を提案し続けられています。

高校生を筆頭に四人の子育てで悩まされながらの家事に加え、自営の店では販売はもちろん、商品管理、季節ごとのコレクションの準備、催事の出張、経理、手が足りない時には商品制作など、毎日が目まぐるしく、現在でも徹夜で仕事をする日があるくらいです。戸板時代の和裁の知識が役に立ちます。貴重な二年間は私の大切な思い出です。まだ先の見えない日々がどうなつていくのか見当もつきませんが、今後も流れに抗わず、全ての縁を大切に過ごしていきたいと思います。

よしやまはなし

被服科五十二回 久保田裕紀子

現在の自分はすべて過去の自分が選んだ道の上にあり、それがどんな道だったとしても、それが最も良だつたと思うようにしている。

創作が好きで、その幅を広げることができ、それだけに打ち込むことで今でも最も充実した時間であつたのではないかと思う。

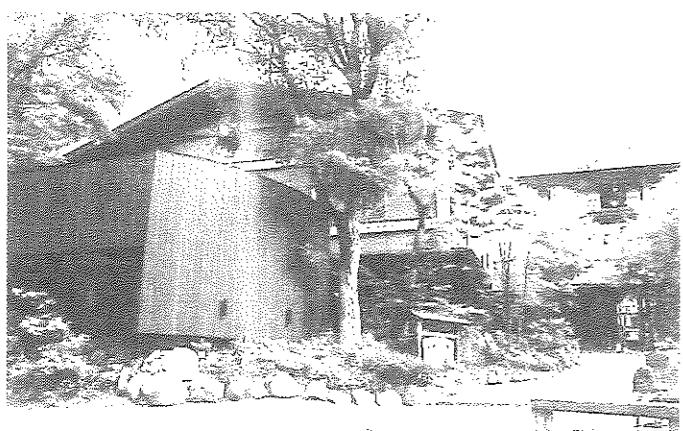
学生時代から美術研究室の助手時代までを数えれば九年、私にとってその時間は長く感じられたが、それから早十年が経つてしまつた。職場が変わった今、仕事に忙殺される中で、自ら創作する機会はめつきり少なくなつてしまつたが、先生方が不定期で開催されているワークショップの手伝いや、助手時代の友人の受注会などに呼ばれると、環境はある頃と変わっているはずなのに、変わらないと感じる空気に包まれてとても落ち着く。いまだに声をかけていただけることも嬉しく、自分でのことをするとともに、頑張ろうと自身の根幹を確認することが

いると思います。人生において寄り添つてくれる友達がいることはとても有り難いことで、刺激し、支え合える大切な友達に出逢え、戸板短大で学んだことが本当に良かったと思います。

今、古希を過ぎて振り返ると長いようで短かつたような私のことを、少し書かせていただきます。想像もしていかつた卒業後の人生成でした。

私がサービス業の旅館に嫁いだのは、四十八年ほど前です。信州の山の中の扉温泉「明神館」という名の一軒宿です。今でこそ、観光バス、自家用車、当館のシャトルバスと交通面も良くなりましたが、当時はテレビも映らず、街から来た私には、旅館仕事が終わつてもラジオを聞くか、館内にあるジュースボックス、インベーダーゲームしか仕事から離れる事ができませんでした。

しかし、豊かな自然に恵まれ春には義母に連れられ、野山に山ウ



旅館に嫁いで

齊藤 百代

生活科五十七回

卒業後の一年間

宮本 純

食物栄養科五十四回

戸板短大を卒業してすぐ給食受託会社に就職しました。配属先は

自宅から車で三十分の高齢者福祉施設で、三月まで別の給食受託会

栄養士は厨房の責任者であり、他の従業員をまとめるなければなりません。皆さんベテランの主婦の

できる。

穏やかなようでも気を抜くと、荒波に飲み込まれそうな時代は目まぐるしい。戸板短大もさまざまな変化を繰り返しながらも、伝統を守り今までその存在を堅持しているのは、先生方や同窓生の試行錯誤、たゆまぬ努力の賜物と感謝している。

校訓「知・好・樂」という考えは、どんな状況であつても、とても人間を豊かにしてくれるとあらためて気づく。好奇心と確かな知識、そして創造力を持つということは、事の大小にかかわらず案外難しい。それを得られる環境が戸板短大はあると考える。嵐のようない時代は今後も勢いを増すのかもしれないが、そのなかでも前を向いて生きていける力をもらい、疲れたら心を休める東屋のような場所が戸板だと、私は思っている。

戸板女子短期大学で出逢つた友達

近藤 伊代

眼鏡薬剤科二回

戸板短大を卒業してすぐ給食受託会社に就職しました。配属先は

自宅から車で三十分の高齢者福祉施設で、三月まで別の給食受託会

時代を経て、いよいよ昔の建物を改築する工事が始まります。大きな出費ですが、これから新しい旅館になるのだと思うと、嬉しさがこみあげてきました。これまで苦労したが遣りがいのある道のりを引き継いでもらいたいと望みながら、息子夫婦にそろそろバトンタッチの準備です。私もやれやれという気持ちです。

そんな私を支えてくれたのが、一緒に働くパートさん達でした。皆さん五十代、六十代で、娘のようくにかわいがつてくださり、優しく時には厳しく、右も左もわからぬ私の仕事を一から教えてくださいました。

社会人になって初めての仕事は、想像以上に多岐にわたっていました。献立作成に食材の発注・納品、調理・盛りつけはもちろんのこと、利用者様の食事ケアのための資料や衛生関連の帳票類の管理、施設側との給食会議、イベント運営、シフト作成に、新規パート従業員の採用面接までしました。面接に来社した方々は、二十歳そこそこの私が面接官でさぞ驚いたと思います。毎日朝早くから夜遅くまで必死に働きましたが、初めのうちは要領も悪く毎日失敗ばかりで辞めたり、こつそり倉庫で一人泣いたこともあります。

日がたつてしましましたが、どんな時もいつも近くには戸板女子短期大学で出逢つた友達がいてくれました。

フリーでスタイリストをしてい

るのですが、有り難いことに素敵な仲間にたくさん恵まれ、内容自由に増えてきたように感じています。

ビジネスなので割り切らなければいけないと思いながらも、時間が決まっている仕事ではないので、仲間を好きになることでその仕事への活力になるということでもあります。

どの仕事もそうだと思いますが、私は縁が繋がってお仕事させていただくことが多く、人との繋がり・出会いがとても大切だなと日々感謝しています。しかし、利害関係で繋がっているだけなので

は?などと考えてしまい、素直に懐に飛び込むことができず、深くつき合うことに臆病になってしまつてもいます。そのような色々な状況に直面した時も、短大時代に

出逢つた友達は、変わらない優しさでいつも温かく見守ってくれて、本当に救われてきました。同じ科、同じコースを選んだという仕事への活力になるということでもあります。あのクラスで皆に出来たこと、趣味趣向が似ていることもあり、人との距離感を掴むことがあり、人との距離感を掴むことがあり、人との距離感を掴むことがあり、人との距離感を掴むことがあります。私がとつて貴重な財産だと、その存在の大きさを年々実感しています。

出逢つた友達は、いつどんな時に会つても変わらない関係で、心の底から安心できます。信頼できる友達がかり合えることがたくさんあります。あのクラスで皆に出来たことで、本当に救われてきました。同じ科、同じコースを選んだという仕事への活力になるということでもあります。あのクラスで皆に出来たことで、趣味趣向が似ていることもあります。私がとつて貴重な財産だと、その存在の大きさを年々実感しています。

出逢つた友達は、いつどんな時に会つても変わらない関係で、心の底から安心できます。信頼できる友達がかり合えることがたくさんあります。あのクラスで皆に出来たことで、趣味趣向が似ていることもあります。私がとつて貴重な財産だと、その存在の大きさを年々実感しています。



ひとり分の楽々ごはん

管理栄養士 井上 慶子
食物栄養科 5回

主菜 豚肩ロースの香味炒めと彩り野菜

～にんにく生姜が効いた醤油ダレがたまらない！～



【栄養成分】 エネルギー 224kcal、たんぱく質 14g
脂質 16g、炭水化物 6g、食塩相当量 1.0g

材料

・豚肩ロース肉薄切り	4～5枚
・こしょう	少々
・ごま油	小さじ 1/2
A 濃口醤油 みりん おろしにんにく、生姜 砂糖	小さじ 1 小さじ 1/2 小さじ 1/4 ひとつまみ
・水菜、人参、糸唐辛子	適量

作り方

- ① 水菜は流水で洗い根元を切り落とし、食べやすい大きさに切る。人参は皮をむき千切りにして水菜と合わせて皿に盛っておく。
- ② 豚肉にこしょうを振り、ごま油を中火に熱したフライパンで炒め、肉の色が変わったらAを加えさっと絡める。①の野菜の上にのせ、糸とうがらしを飾る。

副菜 ごぼうの胡麻味噌酢和え

～胡麻の香りといろんな食感が楽しい！作り置きおかずにも～



【栄養成分】 エネルギー 73kcal、たんぱく質 3g
脂質 2g、炭水化物 13g、食塩相当量 0.7g

材料

・洗いごぼう	細め 1/3 本
・椎茸	1 枚
・乾燥きくらげ	2 枚
A 白すり胡麻 味噌 酢 砂糖	小さじ 1 小さじ 1 小さじ 1/2 小さじ 1/4

作り方

- ① ごぼうは皮をよく洗い縦半分に切り薄切りにする。椎茸は薄く切りトースターで焼いておく。
- ② 沸騰湯でごぼうを歯ごたえが残る程度に茹で（最後の1分ほどできくらげを加え茹で戻す）、ザルにあげ荒熱がとれたらペーパーで水気をふきとる。きくらげは千切りにする。
- ③ ボウルにAを混ぜ合わせ、ごぼう、きくらげ、椎茸を混ぜ合わせ器に盛る。

豚肩ロースは脂が多いので肉質が柔らかく食べやすい部位。タレがたっぷり絡まった肉を野菜に乗せてドレッシングいらす！この2品にご飯とお味噌汁をつければ栄養バランスばっちり♪日本人が不足しやすい栄養素（ビタミン A、カルシウム、食物繊維など）は、価格も安定して入手しやすい豚肉、人参、水菜、ごまなどを上手に取り入れて美味しく健康づくりにつなげましょう。

戸板栄養士会だより

- 【TOITA Fes 2018への参加】
- 平成三十一年十月二十六日（金）～二十七日（土）
- 今年は、戸板父母の会、戸板女子短期大学同窓会千草会と一緒に場所で一階に変わったため例年よりも来場された人数は少ない状況でした。本会では、毎年大好評の健康茶の提供と、アルコールパッチテスト、体組成測定などを実施いたしました。

【幹事会】

昨年度より、偶数月の第一月曜日を定期会議とし、幹事二十二名で運営しております。

平成三十一年十月二十六日（金）～二十七日（土）

今年は、戸板父母の会、戸板女子短期大学同窓会千草会と一緒に場所で一階に変わったため例年よりも来場された人数は少ない状況でした。本会では、毎年大好評の健康茶の提供と、アルコールパッチテスト、体組成測定などを実施いたしました。

会員の皆様、お元気で活躍のことと拝察申しあげます。日頃よりご協力を賜り、誠にありがとうございます。平成二十一年度の主要活動をご報告いたします。

「エトワール」にて、美味しくてリーズナブルなお料理にお腹も心も大満足でした。当日は、台風が接近しておりましたが十三名の参加があり、楽しいひとときを過ごしました。

【懇親会】

平成三十一年十月二十六日（金）～二十七日（土）

【総会・セミナー】

平成三十一年三月二十四日（日）平成二十一年度戸板栄養士会総会の開催と、セミナーを予定しております。

実施内容につきましては、次回報告させていただきます。

【管理栄養士国家試験対策講座】

第二十五回管理栄養士国家試験対策講座は、七月から十一月の土・日に一科目ずつ五回シリーズで計十科目開講し、二月には直前質問講座を行いました。講師には、元学長 辻啓介先生をはじめ、本学に縁の深い先生方、現食物栄養科教員の方々にご担当いただきました。

【その他】

第三十二回管理栄養士国家試験合格者は八名でした。

合格された皆様には、心よりお祝い申します。平成十七年度より個人情報保護法の施行により合格者の個人名は発表されおりませんので、めでたく合格された方々は、ぜひ戸板栄養士会までご一報ください。

また、今後受験を予定されている皆様には、母校での「管理栄養士国家試験対策講座」のご参加を心よりお待ちしております。どうぞよろしくお願いいたします。

勤務先・住所・氏名の変更などは必ずご連絡をお願いいたします。また、新しく栄養士業務に就かれた方も会員として登録いたしますので、左記までお知らせください。

〒105-100-14
東京都港区芝二丁目一十七
戸板女子短期大学 戸板栄養士会
TEL 03-3452-1416
Eメール eyoshi@toita.ac.jp
ホームページ http://www.toita.ac.jp/eiyoshi/

戸板栄養士会事務局 西山 良子



平成29年度総合講演会

平成30年度
懇親会



フロアの模擬店を見て「い」の仲間とのチームで、全力で作りあげることができ本当に良かった」と心から思いました。

この「TOITA Fes 2018」は、強い意志を持ち、心から本気になれた活動でした。自分を見つめ直し、達成感に溢れ、ここまで成長を実感できた活動は、今までの人生には無いもので、貴重な経験になりました。後輩たちには、ぜひ来年も盛大に盛

りあげてほしいと思います。

最後になりましたが、このよう

に「TOITA Fes 2018」が盛況のうち

に終了できましたのも、学内の教職

員の皆様や卒業生の皆様のご協力が

あってこそと、心より御礼申し上げ

ます。また、本年度も同窓会千草

会、戸板父母の会からの多大なる支

援及びご援助を賜りましたこと、厚く御礼申しあげます。

同窓会千草会学生奨

服飾芸術科 牛島 葵・大河内かおり
食物栄養科 星野恵利佳・山本真優
国際コミュニケーション学科 坂口穂香・島根亜緒衣

平成三十年度の同窓会千草会奨学生は、選考委員会において左記の六名を選出し、六月二十八日（木）に学長小林千春先生や三学科長、短大事務局長に出席をいただき、奨学生授与式が行われました。

この奨学生は、二年生を対象に学業の継続に奨学生が必要とする学

生の中から、勉学の意欲に燃え、かつ人物良好な方に支給するもので

す。同窓会千草会は母校の発展と人材育成のために、この支援を続け

TOITA Fesに参加して

卒業して年月を経ても母校を懐かしく思い、訪ねていただいたこと、まさに同窓という絆を通して広がる輪を感じ、印象に残った出来事でした。（ちぐさ編集委員）



今年度も千草会は、TOITA Fes（戸板祭）に参加しました。一階の総合教養の教室で、父母の会・栄養士会と一緒にお客様をお迎えしました。一階の出入口近くのわかりにくい場所であったためか、来場者は例年よりも少ない一日間でした。

栄養士会では、恒例の健康茶がふるまわれ、またアルコールパッチテスト・体組成測定などが行われていました。来場者は興味を持って、それぞれ試飲や測定をしていました。

千草会では、常任幹事が交替で茶菓のおもてなしをしました。

婦がインターネットで TOITA Fes を知り、川崎から来校されました。

初日に、奥様が同窓生の年配のご夫

婦がインターネットで TOITA Fes を知り、川崎から来校されました。

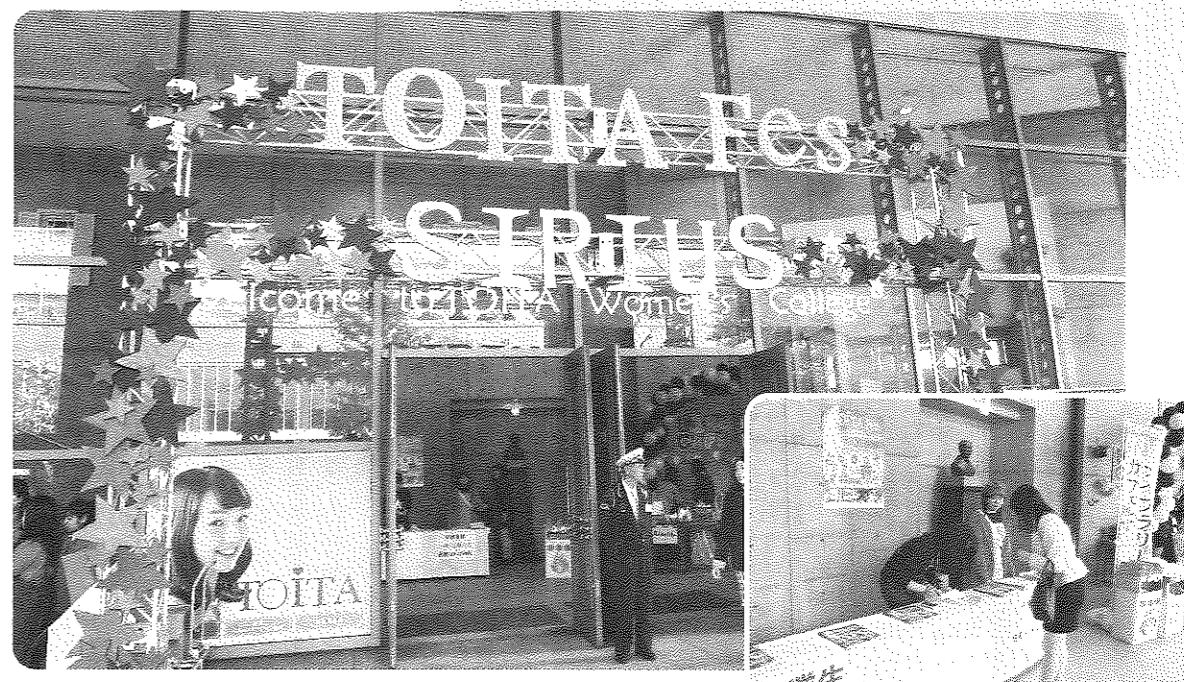
このことで調べた結果、被服科第一部二回生と判明し、当時の話題に花が咲きました。

卒業して年月を経ても母校を懐かしく思い、訪ねていただいたこと、まさに同窓という絆を通して広がる輪を感じ、印象に残った出来事でした。（ちぐさ編集委員）

最高の思い出

TOITA Fes 2018

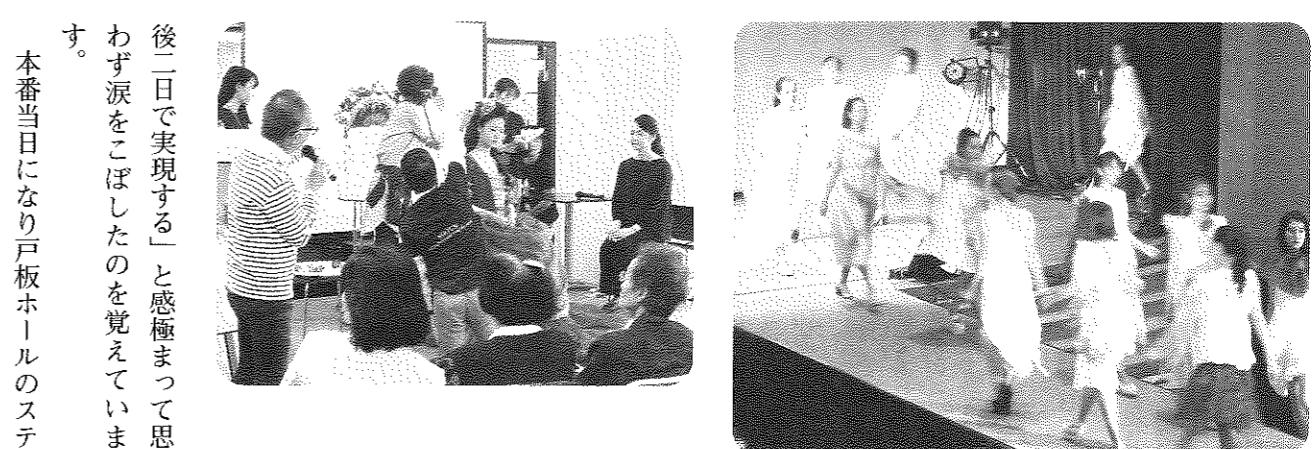
実行委員長
国際コミュニケーション学科2年
井上 春花



私が TOITA Fes 実行委員長という大役を務めた半年間は「日々成長」だったと、一ヶ月経った今でも感じています。何より来校された方々に怪我もなく無事に終えられたこと、最後まで笑顔で務めあげられたこと、本当に嬉しい限りです。実行委員長に就任してからの半年間は、想像以上に忙しく「自分にやり切れるのか？」と思いつながら、日々活動していました。それでも乗越えられたのは、学生会の仲間やプロジェクトチームの仲間が一体となつて「短大一の学園祭」「学生が輝く TOITA Fes」にするという目標に向かって走っていたからです。

短大の一大イベントを新たに、更に大きくするのだから「絶対に苦戦する」と覚悟は決めていました。実際にまわりに迷惑を掛けたこともありましたし、チームの気持ちにずれが生じる時もありました。それでも掲げた目標のもと、何度も会議を重ねアイデアを出し合い、私達は「成功」に向かって走り続けました。そして本番一日前に戸板ホールに初めてランウェイや照明・音響が設置されました。

プロの方が準備をしているときに「今までやつてきたことの全てが、一日で実現する」と感極まつて思いました。



3 会計報告

平成二十九年六月二十二日(土)の幹事会において、平成二十一年度決算、平成三十一年度予算案が承認されましたので、ご報告いたします。

■奨学生について

平成二十一年度の奨学生は、三科五名でした。各三十万円を五名に、合計百五十万円を支出いたしました。

■会員会費について

平成二十一年度の会費納入者は、学生会費四百七十八名・年会費十名・終身会費二名でした。

■雑収入について

平成二十一年度ご寄付を六名の方より頂戴いたしました。

松崎眞理子様(英文科十九回)

杉橋 啓子様(生活科二回)

雪田 宏子様(生活科十二回)

加藤 啓子様(生活科二十七回)

小林 千春学長

岩本千鶴子先生

■学生費について

学生費は、卒業生への記念品(学位記ホルダー)

代として支出いたしました。

■会費納入について

会費納入方法が昭和五十三年三月に切り替わっています。

昭和五十二年三月以前に卒業された方は、年会費(千円)あるいは終身会費(一万円)のいずれかの納入方法を選択することができます。この納入制度切り替え時以後、未納の方には、会報誌「ちぐさ」をはじめ同窓会からの連絡が途切れています。

会費の納入をお願いします。また、友人にもお伝えいただければ幸いです。また年会費の方は、

既定の振替用紙でご送金ください。
なお、昭和五十三年三月以降の卒業生は終身会費で納入しております。

4 同窓会事務室からのお願い

■お問い合わせ

昨年三月『ちぐさ』六十一号を皆様のお手元にお届けしてから、住所不明者として三百六十三通が戻ってきました。大変残念に思っております。毎号『ちぐさ』の誌面でもお願いをしておりますが、

住所変更や改姓の折には、出身科・卒業回数または卒業年・クラスなどを書いて、同窓会事務室まではがき・FAX・メールで連絡ください。お電話でのご連絡は、間違いの原因になりますのでお控えください。

なお、同窓会事務室の開室時間・担当者は左記の通りです。

事務室開室時間・担当者

月曜日～金曜日

午前十時～午後四時三十分

事務担当者 古閑美和(被服科41回)

■お願い

『ちぐさ』に対する皆様のご意見やご要望をお聞かせください。

学校のこんなことが知りたい、こんな記事を望んでいる、また「人物紹介」欄、「お便りコーナー」欄についても、このような方がいらっしゃるなどのご紹介や情報を是非お寄せください。

編集委員会では今まで知りうる限りの方々に執筆をお願いしてきましたが、多くの同窓生がいらっしゃるにも関わらず、情報が少なく苦慮しております。できるだけ多くの皆様を掲載し、ご紹介させていただきたいと考えております。自薦、他薦を問い合わせませんので、よろしくお願いいたします。

ご連絡は手紙、FAX、メールなどで、同窓会事務室宛(上記記載)にお願いいたします。なお、ご自身の出身科・卒業年・連絡先も併せてお知らせください。

多くのご意見や情報をお待ちしております。

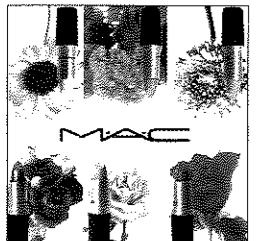
卒業生や企業との『つながり』が戸板の新たな学びに!!

同窓会千草会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申しあげます。
教職員一同、「魅力ある戸板女子短期大学」づくりに取り組んでいます。

〔2018年の活動報告〕

「産学連携プレゼンテーションプログラム」がスタート

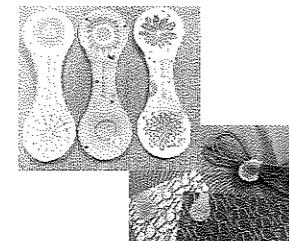
総合教養科目「戸板ゼミナール」の授業で、1年生全員を対象にした「産学連携プレゼンテーションプログラム」がスタートしました。今回プロジェクトに参画する6つの企業「(株)エムズ、M・A・C、H.I.S.、日本電算(株)、(株)ライスアイランド、(株)LEOC」が実際に抱える問題に対して、解決案を作成・提案、商品化までいたしました。



M·A·Cラフォーレ原宿店
Instagram作成
(服飾芸術科1年生)



LEOCスタジアムグルメ販売
(食物栄養科1年生)



日本電算企業販促物でクリップを提案
(国際コミュニケーション学科1年生)



ライスアイランド雑穀米健康レシピ作成
(食物栄養科1年生)

服飾芸術科

東京ガールズコレクションのスタッフ運営に参加

9/1(土) さいたまスーパーアリーナにて開催された「マイナビpresents 第27回 東京ガールズコレクション 2018 AUTUMN / WINTER」に、服飾芸術科1年生5名がモデルフィッターとしてスタッフ運営に参加。大きなイベントの裏側、憧れのスタイリスト、プレスの仕事を間近で見ることができ刺激的な経験をしました。



食物栄養科

(株)ミートコンパニオンとTOKYO Xのメニューを開発

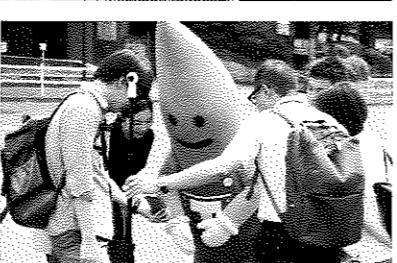
(株)ミートコンパニオンが運営する「DANRAN亭」で幻の豚肉「TOKYO X」を使った「TOKYO Xミートバームクーヘン」を考案しました。メニュー開発に携わる貴重な経験となりました。



国際コミュニケーション学科

東京都港区の観光名所を紹介するVirtual Reality動画を共同開発

港区産業・地域振興支援部産業振興課と連携し、東京都港区の観光名所を紹介するVirtual Reality(拡張現実)動画を共同開発しました。VR視聴の際に使用するゴーグルもICTゼミの学生がデザインしました。9/20~23「ツーリズムEXPOジャパン」の港区・港区観光協会ブースにて公開されました。



卒業の皆様、在学生応援のために企業連携やOG訪問にご協力ください

企業連携やOG訪問にご協力いただける方はお気軽に下記までご連絡ください。

お問い合わせ・お申し込み

短大事務局

TEL 03-3452-4161 (代表)

入試・広報部

TEL 03-3451-8383 (直通) 金井・澁谷
E-mail ao@toita.ac.jp

平成30年に亡くなられた方	
東方 初栄	(中沢)
杉田イトエ	(清水)
蓑田万里子	(吉岡)
上吉原増江	
岸 寿美枝	
廣田 深町	
飯島 潤子	
倉持 節子	(吉田)
小川 飴子	(加藤)
永島 勝枝	(鈴木)
宮崎 利子	(小泉)
石井 文江	(飯塚)
田中 朝子	(津田)
小野川佳子	(龜谷)
打越 和子	(富田)
星 豊里	(吉井)
佐野 紀子	(吉井)
山川小夜子	(加藤)
横山 静枝	(平野)
中原八重子	(寺崎)
福島 きぬ	(沼)
小川 操	(松野)
脇坂 好	(円城)
阿部郁代子	(藤澤)
平成31年1月末までにご連絡を受けた方	
横山 静枝	速成科47回
中原八重子	高等師範科14回
福島 きぬ	高等師範科17回
小川 操	高等師範科21回
脇坂 好	高等師範科26回
阿部郁代子	高等師範科26回

丹 吉川 啓子	新設家政科16回
松本 釜田 鎌野 並木 青山 中尾 佐藤	英文科39回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科3回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科5回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科13回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科5回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科4回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科12回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科12回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科12回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科14回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科20回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科12回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科12回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科30回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科5回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科28回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科39回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科33回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科27回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科39回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科31回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科29回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科32回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科34回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科37回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科39回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科41回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科44回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科47回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科50回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科53回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科56回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科59回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科62回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科65回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科68回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科71回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科74回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科77回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科80回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科83回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科86回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科89回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科92回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科95回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科98回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科101回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科104回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科107回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科110回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科113回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科116回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科119回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科122回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科125回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科128回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科131回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科134回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科137回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科140回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科143回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科146回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科149回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科152回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科155回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科158回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科161回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科164回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科167回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科170回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科173回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科176回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科179回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科182回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科185回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科188回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科191回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科194回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科197回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科200回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科203回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科206回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科209回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科212回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科215回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科218回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科221回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科224回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科227回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科230回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科233回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科236回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科239回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科242回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科245回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科248回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科251回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科254回
吉川 一子 満江 喜久子 俊子 由美子 仁美子	被服科257回
吉川 一子	

『ちぐさ』第63号

編 集 ちぐさ編集委員会
発 行 日 平成31年3月10日
発 行 者 東京都港区芝2-21-17
戸板女子短期大学同窓会
千草会

TEL 03-3452-4169 (直)
FAX

ホームページ
<http://www.toita.ac.jp/>

制作 エックスデザイン株式会社

CHIGUSA

